

31H 岡田知里 33H 上坂智華 33H 池島駿介
 34H 永坂郁也 35H 吉本陽菜 36H 矢田愛結佳

■課題

能登を満喫できるイベントが全国に周知されておらず、能登への移住を促すほどの魅力を発信できていない。

■解決策

現在実施されているイベントを発展させて、能登の魅力を全国に発信し、交流人口の増加を図り、移住へつなげる。

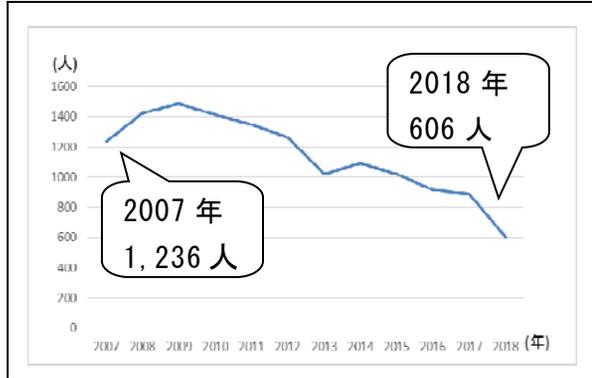
■現状（課題の背景）

☆現在実施されているイベント

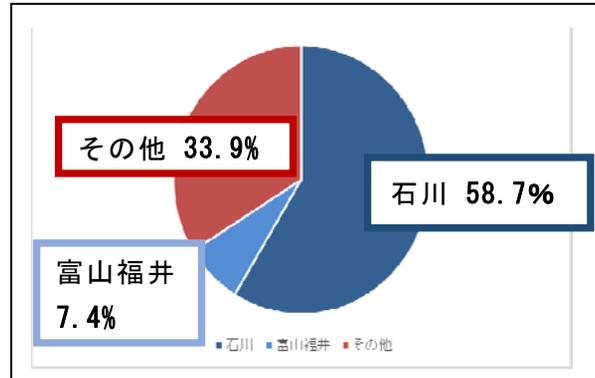
（例）〈ツール・ド・のと〉美しい大自然と優しい人情が息づく能登半島一周コースを自らの体力と気力で走ることを目的とした大会

○参加者数 推移（2007～2018）

○参加者 地域別（2018）



- ・減少傾向
- ・約10年で半減



- ・石川県内は約6割
- ・北陸3県は約7割
- ・海外は1人

〈理由の推測〉・イベントの知名度が低く、新しい参加者がいない。

- ・イベント参加者の過半数を占める石川県で少子高齢化が進んでいる。

〈考察〉

「ツール・ド・のと」に参加しているのは主に地元の人であり、県外へ十分に能登の魅力を発信できていない。そこで、このイベントを全国に周知し、他県から人を呼び込んで人々に能登の魅力を知らせ、将来的な移住につなげたいと考えた。

■解決策（案）

○賞金を出す

（例）ツール・ド・フランスの優勝賞金は約6,500万円。
 毎年ハイレベルな選手が多数参加している。

（具体案）

500万円を賞金に拠出

→全体の希望参加者数は少なくとも2007年当時近く（1,200人程度）まで増加

※ただし、人数増加による運営上の問題を考慮して

レースの定員…500人

それ以外の定員…500人（先着順）とする。

○賞金レースについて

・レース参加費は1人4万円、最大2,000万円徴収

・賞金で500万円使用、1,500万円を運営費等にあてる

○賞金レース以外について

これまで通り実施

（効果）

話題になる&賞金獲得を目指す人が参加

○外国の参加者を誘う

（具体案）

七尾市の姉妹都市であるモンレーから参加者を募集
 →海外のSNSで拡散

（効果）

- ・海外で能登が認知される機会が増える。
- ・スポーツを目的とした海外の観光客の増加がみこまれる
- ・観光客が定期的に来るようになる。

○プラスして能登の特産品を提供

（具体案）

・給水所などで、志賀町のころ柿や輪島の塩せんべい、中島菜うどんを無料で提供

・輪島塗の漆器をゴール地点で販売

（効果）

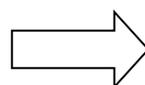
より能登の魅力を触れてもらえる。

■結論

高額な賞金を出す→話題性が出て、知名度が上がる。

外国人の参加者を募集→海外に能登を発信する。

多様な能登の特産品を提供→より魅力が伝わるイベントに。



交流人口の増加による移住の可能性

＝より多くの人々が豊かな能登の景観を満喫し、また、地域の人々の温かさに触れる。
 →将来的に、能登への移住が選択肢に入る可能性が高まる。

■参考文献

<http://tour-de-noto.com/>